

自分でつくる教科書 — エポックノート

教科書はありません。

子どもたちは先生の語るお話やクラスでのやり取りなどを通して、教科の内容を深め、学び取っていきます。それらをまとめたノートには、子どもたちの学習の成果があらわれています。



1年生 [かず]



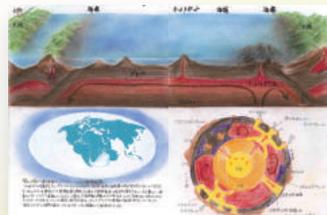
3年生 [米作り]



5年生 [植物学]



6年生 [幾何学]



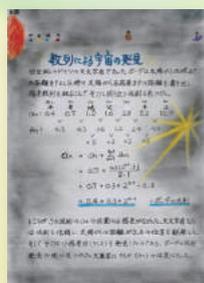
8年生 [地球学]



10年生 [人類学]



11年生 [文学]



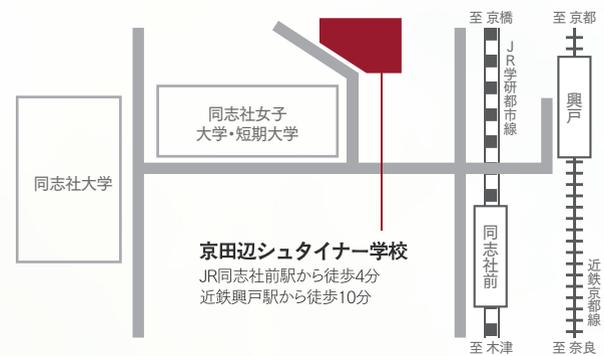
11年生 [数学]

京田辺シュタイナー学校が目指すもの

世界で起こっている事柄に対して共感や関心を持ち、自分は何を成すべきかを考え、そして実際に行動できる人間の育成を目指します。希望を持って未来のあるべき姿を思い描く力、思い描いた未来に対して今できることを行動に移す力。この学校を巣立つ子どもたちがその両方の力を持って新しい社会を創っていく人間になることを願っています。

沿革

- 1994年 「シュタイナー学校設立を考える会」発足
- 1995年 土曜クラス開始
- 1998年 「シュタイナー学校設立準備会」に名称変更
- 2000年 法人格を取得
「特定非営利活動法人 京田辺シュタイナー学校」設立
校舎建設着工
- 2001年 第1期校舎完成 全日制(初等・中等部)開校
- 2003年 高等部開設 第2期校舎完成
- 2007年 3月 第1期生卒業
- 2010年 NPO法人教育機関として日本初ユネスコスクール認定
- 2013年 高等部レンタル校舎使用開始
- 2016年 サステイナブルスクール認定



本校では、学校見学会やバザー、講座など、一年を通じて
どなたでもご参加いただける催しを行っています。
詳細はHPにて随時ご案内しておりますので、ぜひご覧ください。

<https://ktsj.jp/>

✉ : info@ktsj.jp
☎ : 0774-64-3158
☎ : 0774-64-3334

〒610-0332
京都府京田辺市興戸南鈴立94

NPO法人
京田辺シュタイナー学校

2017年3月制作

NPO法人
京田辺シュタイナー学校



こどもたちは
どんな未来を描くだろう。



京田辺シュタイナー学校

ドイツの哲学者ルドルフ・シュタイナーの教育理念に基づく学校を作りたいと願う親と教師が集まり、2001年に全日制の学校を開校しました。2017年現在、小学1年生から高校3年生(12年生)まで約260名が在籍しています。

12年間一貫教育

長期的な視点で子どもの成長を捉え、真の力を引き出す学校

京田辺シュタイナー学校の12年間は、8年生(中学2年生)までの初等・中等部と、9年生から12年生までの4年間の高等部に分かれています。初等・中等部では一人の担任が8年間継続して受け持ち、一人ひとりに寄り添って成長を見守ります。高等部の担任は、8年生までの過程をふまえてクラスやカリキュラムを引き継ぎます。高等部では、教科ごとに専門の教員や外部講師による授業が行われ、工芸・芸術・農業・福祉体験など様々な分野の実習も多く盛り込まれます。教員たちは、様々な機会に生徒たちが自ら考え行動することを促し、その手助けをしています。

ユネスコスクール加盟、 そしてサステイナブルスクールに認定

ユネスコスクール(ASPnet)は、ユネスコ憲章に示された理念を実践する学校の、国境を越えたネットワークです。本校は2010年、国連のユネスコ本部によって、NPO法人の教育機関として日本で初めて加盟を認められました。国連・ユネスコが、21世紀の重要な教育課題としているのは「ESD(持続可能な開発のための教育)」です。2016年、文部科学省が委託したESDを推進する事業により、本校は重点校「サステイナブルスクール」(全国24校)の1校に選定されました。日本のユネスコスクールを代表する学校として、他の重点校と連携した活動をしています。



ルドルフ・シュタイナー(1861-1925)

オーストリア生まれの哲学者。ゲーテ研究家、著作家、講演家として活躍。1919年、ドイツに自由ヴァルドルフ学校(シュタイナー学校)を創立。シュタイナーの理念は教育以外にも医療、農業、経済など様々な社会的実践の場で今も生かされています。シュタイナー学校は現在、世界の64カ国に広がり、約1100校が運営されています。(2016年国際ヴァルドルフ/シュタイナー教育会議公式サイト調べ)



成長段階に合わせた カリキュラム

子どもたちは年齢によって在り方や内面を姿容させていきます。日々の学びが子供の成長を助けるよう、それぞれの成長段階に合わせたカリキュラムと授業方法を実践しています。

1年生から 2つの外国語

日本語とは異なる言語の質や他国の文化に出会うことで、世界に対する視野を広げます。交換留学や文通・訪問などの国際交流も行っています。

手紙による通信簿

毎年、年度の終わりには、1年の学習と成長について教科ごとに詳しい文章を作成し、一人ひとりの成長を願った詩とともに渡しています。

シュタイナー 教育

豊かな体験とともに

カリキュラムには、手仕事・木工・園芸など手足を動かすものや、音楽・美術などの芸術科目、実習が多く含まれています。またあらゆる教科においても体験を伴う授業が展開されます。

エポック授業

毎朝行われる1時間40分のメインレッスンでは、同じ教科を3~4週間連続してじっくりと学びます。イメージを膨らませながら話を聴いたり、テーマに関する活動を重ねることで、子どもたちが実感を持って学ぶことのできる授業を行っています。

卒業に向けて

12年生では、1年以上をかけて取り組んだ個々の研究のプロセスと成果を発表する機会を持ちます。自分の興味のあるテーマにじっくり向かい合うことで、生徒一人ひとりが内面的な成長を遂げ、卒業を迎えます。

2年生 英語

3年生 生活科田植え

6年生 幾何学

高等部 英語

10年生(高1) 生物

クラブ活動 器楽部

